

PANEL55



公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部

- 支部長あいさつ
- 支部役員・各委員会メンバーリスト
- 令和6年度事業報告（研修委員会・青年委員会）



支部長挨拶

公益社団法人兵庫県建築士会神戸支部
支部長 佐々木 博司

日頃より公益社団法人兵庫県建築士会神戸支部の活動に対して、ご支援・ご協力を賜りまして感謝いたしております。支部長に就任いたしましてから早くも1期2年が終わってしました。いろんなことを実行したいと思いながら何も出来ていないと感じつつ、様々な日常の活動に精一杯で、めまぐるしい日々を送っている状況です。

令和7年1月17日に、あの阪神・淡路大震災から30年が経ちました。今でもあの日のことは思い出しますし、その後の復旧・復興に少なからず携わってきました。建築士として何ができるのかを葛藤していたように覚えています。よく出来たと思うことや、結局何も出来なかつたと感じることもあり、本当に何が正解だったのかは30年経っても答えが出せていないように思います。あれからも、いろいろな災害が発生していますが、本当に何も出来ていません。もう少し災害対策への関心が大きくなるような活動もやっていくべきと考えているところです。震災から30年が経ったからこそ、出来ること・やれることを今後はしっかりとやって行けたらと思っています。

令和7年4月1日から、私たちの仕事にも直接関係のある木造戸建住宅の4号特例縮小による壁量計算等の見直し、省エネ基準適合義務化や大規模なリフォームの確認審査対象などの建築基準法改正が実施されます。この変化に対しても、しっかりと対応していくなければなりませんし、そのことに建築士会としてもフォロー出来るような活動も続けていければと考えています。

最後になりますが、公益社団法人兵庫県建築士会神戸支部では、様々な事業活動を通して、建築士の資質の向上に寄与すべく、支部活動・交流を活発にする努力をしていきます。今後も神戸支部の活動を見守って頂き、今まで以上に皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

(2025.4.26)

令和7年度役員

1. 神戸支部支部長（1名）

ささき ひろし

佐々木 博司

2. 神戸支部副支部長（4名）

あらかわ なおき

荒川 直樹

こき かずと

湖亀 一登

のぐち なおと

野口 直人

まさもと みつのぶ

槇本 光展

3. 神戸支部理事（7名）

うえの かずひこ

上野 和彦

こうらい けんじ

高麗 憲志

ささき やすゆき

佐々木 康行

しばさき やすこ

芝崎 康子

たかはし としろう

高橋 利郎

てらだ みさと

寺田 みさと

まえだ さえ

前田 さえ

4. 神戸支部監事（2名）

あかざわ しょうご

赤澤 祥語

まえかわ しょうじろう

前川 象二郎

5. 神戸支部顧問（2名）

えびす たかし

戎 孝之

たなか よしき

田中 義之

令和7年度各委員会メンバー

研修委員会

担当副支部長 槇本 光展
委員長 佐々木 博司
副委員長 石田 敦、芝崎 康子
委員 佐々木 康行、瀬戸口 茂、中居 博喜、長谷川 明弘
前田 さえ、毛利 康人、安水 正、山下 享子

青年委員会

担当副支部長 荒川 直樹、野口直人
委員長 上野 和彦
副委員長 川田 靖、中村 重陽
委員 神鳥 嵩之、高橋 利郎、寺澤 梓
相談役 寺田 みさと
顧問 高麗 憲志

令和 6 年度神戸支部通常総会

副支部長（総務担当） 湖亀 一登

開催日時：令和 6 年 4 月 27 日（土）13：30 ~

開催場所：神戸市産業振興センター 901 号室

参加人数：通常総会 22 名 <前年 30 名>

懇親会 26 名（内 1 名は講師神家氏、1 名は明石支部から参加していただき懇親会費免除）<前年 30 名>

報 告：今年度も総会、懇親会とも前年から人数が減りました。

会員数の減少に歯止めがかかるない現状では会場、懇親会場ともに場所の選定から見直す時期に来ているとも感じています。



佐々木 支部長あいさつ



総会風景

令和6年度 「歴史と環境」を学ぶ会 ・・・奈良の安倍文殊院・飛鳥寺・岡寺を巡る・・・

主催：公益社団法人兵庫県建築士会 神戸支部 研修委員会

■日 時：令和6年11月9日（土） 8:00～17:05

■内 容：奈良の安倍文殊院・飛鳥寺・岡寺や石舞台古墳を巡り、歴史的な由緒ある寺院の建築・魅力ある空間を体感し、触れることで、建築に関わる日常業務等のスキルアップに努めることができました。

■場 所：安倍文殊院・飛鳥寺・岡寺・石舞台古墳

■参加者：会員 14名、非会員 3名 合計 17名

■参加費：会員 6,000円、非会員 8,000円

今年度の「歴史と環境」を学ぶ会は、奈良の安倍文殊院・飛鳥寺・岡寺の建築や石舞台古墳を巡ることが出来ました。

最初に安倍文殊院を訪れ、ご住職による寺院や仏像の説明に加えて、とてもここに刺さるお話を伺った後、本堂内部を見学させて頂きました。訪れたこの時期は、本来獅子の台座に乗っておられる「日本三文殊」の文殊菩薩が耐震台座の工事のため獅子から降りられている姿で見られるという貴重な体験をさせてもらいました。

その後、文殊池に浮かぶ金閣浮御堂を見学、ここでは正式な参拝方法として、7回浮御堂の廻りをまわりながらその都度拝礼することを経験させてもらいました。

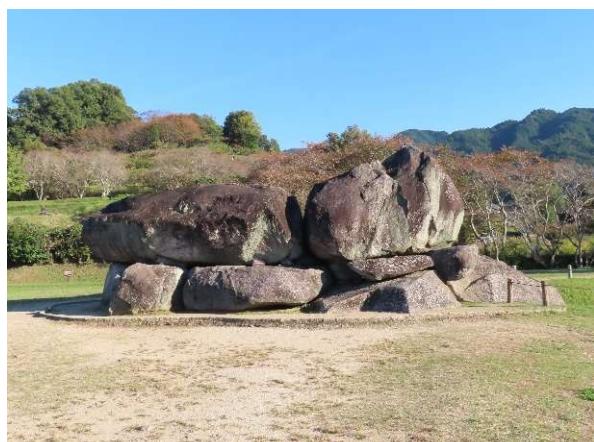


その後、昼食を頂いてから、飛鳥寺を訪問しました。こちらでも日本最古の仏像と言われている飛鳥大仏の面前で住職による寺院・仏像の説明を受けて、作られて時から約1400年もこの場所を移動していない飛鳥大仏を写真撮影までさせて頂きながら、じっくり拝ませてもらいました。

展示コーナーでは、現状の規模からは想像できないほどの飛鳥寺のかつての大きさがわかる資料が展示しており、外部では塔跡の表示板や蘇我入鹿の首塚などもあり、わが国最古の寺院の一端に触れることができました。



次に、西国三十三所観音霊場の第七番札所でもある岡寺を訪問し、本堂他の多くの寺院建築を見学したり、本尊である如意輪観音坐像等を参拝するなど境内を自由散策してまわりました。



今回は、奈良の寺院・古墳を巡って大変すばらしい一日を過ごせたと思います。今後も、このような体験が出来て、もっと見たいと思える場所を見学し、満足して頂ける事業が出来るように努力していきたいと思っております。(文：佐々木)

令和6年度 法規講習会

(公社) 兵庫県建築士会神戸支部研修委員会

(一社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部研修部 共催

- 開催日時： 令和 7 年 2 月 4 日 (火) 13:30~16:30
- 開催場所： 神戸市教育会館 501 号 (中央区中山手通 4 丁目 10 番 5 号)
- 参加者： 49 名 (会員 47 名、会員外 2 名)
- 受講料： 建築士会会員・事務所協会会員は 3000 円、会員外 4000 円

司会：(一社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部 森脇 匠一氏

閉会挨拶：(公社) 兵庫県建築士会神戸支部支部長 佐々木 博司氏

■ 講演内容：

- ① 福祉のまちづくり条例の改正について

講師：兵庫県まちづくり部都市政策課 主査 海原 英正 様

- ② 神戸市の空き家対策

講師：神戸市建築住宅局建築指導部安全対策課 課長 (安全推進担当) 有井 美由紀 様

- ③ 神戸市環境配慮条例に基づく緑化基準の改正

講師：神戸市建築住宅局建築指導部建築安全課 係長 (建築環境担当) 吉川 正隆 様

- ④ 4 号特例の見直し等 (構造関係) について (令和 7 年 4 月 1 日施行)

講師：神戸市建築住宅局建築指導部建築安全課 係長 (構造担当) 吉本 侑生 様

- ⑤ 防火規制の合理化等について (令和 6 年 4 月 1 日施行分)

講師：神戸市建築住宅局建築指導部建築安全課建築安全係長 高橋 宏治 様

- ⑥ 神戸市消防用設備等技術基準 (令和 6 年版) の改正について

講師：神戸市消防局予防部査察課設備指導第 1 係長 福元 康介 様

閉会挨拶：(一社) 兵庫県建築士事務所協会神戸支部副支部長 川田 靖氏



令和6年度 意匠設計者のための設備講習会

主催：(公社) 兵庫県建築士会 神戸支部 研修委員会

■開催日時： 令和7年2月28日（金） 18:30～20:00

■開催場所： (公社)兵庫県建築士会 神戸支部事務所

■講習内容： 講師：安堂設備設計事務所 安堂 渉氏

意匠設計者のための設備設計について、設備設計を専門にされている専門家により、基礎からもう一度勉強することを目的とした講習会です。

設備設計者から、意匠設計の時にどのような配慮や注意が必要か、設備設計（給排水設備）とはどのように実施されているのかなど、教えて頂きました。

■参加者： 22名（会員18名、会員外4名）

■参加費： 会員1,000円、会員外2,000円

当日は、多くの方々に参加していただきました。

この講習会は、意匠設計者のための設備講習会と題して、昨年度より意匠設計者が普段からいろいろと問題にしている設備設計について、基礎からもう一度勉強しようというものです。意匠設計者にとって、設備設計というのは、いつも苦労している分野でもあると思います。そこで、今回は機械設備設計を専門にされている専門家から、いろんなアドバイスをいただき、今後の設計活動に役立てたいと考えました。

実際の講習会の内容は、給排水設備について、設計時における注意点を説明して頂き、時間を忘れるくらい充実した内容でした。給排水設備の設計というものが、奥が深いものであることを再認識し、今後も学んでいかなければと感じました。

今回で2回目の設備に関する講習会となりましたが、なかなか習得するには難しく、今後も設備に関する講習会の開催が必要だと感じました。

(文：佐々木)



事業報告シート										
事業分野	もの・まち・くらし・その他		作成日	令和6年5月24日						
事業名称	公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部総会 特別講演会									
開催日時	令和6年4月27日(土) 14:30~16:30		開催場所	神戸市産業振興センター						
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんいいんかい									
活動団体名	(公益社団法人)兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会									
事業の目的	広く参加者を募ることにより、建築士会の活動を多くの方へ知っていただく場としたい。 講師については、岡山で活躍する建築家である神家昭雄氏を招き、幅広い年齢層の集客を図り、会員拡大及び活動参加拡大の広報活動の場としたい。また、活躍されている講師の講演を聞くことにより、個々の意識向上につなげる事を目的とする。									
主な事業内容	テーマ:『普通で自然な建築 美しい普通はあるのか?』 講 師:神家 昭雄氏 1953年 岡山県生まれ 1974年 国立明石工業高等専門学校建築学科卒業 1987年 PLUS建築研究所設立 1994年 神家昭雄建築研究室に改称 古民家再生工房のメンバー 武庫川女子大学非常勤講師									
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	学生	合計				
会場		4	21	31	0	56				
ライブ配信視聴	人数				55	55				
建築士の関り	建築士として著名な建築家の選出から始まり、事務所へのオファー、回答を得られるまでの過程を通じ、他の事務所の対応や建築家との関わり方等、日々行う業務に於いても、学ぶべき要素が多い機会と考え、この事業に関わっていきたい。									
今後の検討課題	新型コロナ感染症の発生以降、会場での開催と同時に、ライブ配信視聴を行い、現地参加が難しい神戸近郊以外の方々も幅広く参加していただける趣旨で今回まで行ってきましたが、そのライブ配信について、配信機材の準備と当日の運営の難しさが課題です。オンライン配信の有効性と特別講演会の開催目的等振り返って、次年度以降の開催方法の検討が必要と考えます。 会場参加者については、昨年と同程度であり、コロナ前と比較して増えているので、今後もSNS,HP等を用いて集客を行います。									
連携・協力組織等	神家昭雄建築研究室									
当日の様子										
 										
事業担当(計画)者	中村重陽(青年委員会・副委員長)		事業責任者	高麗憲志(青年委員会・委員長)						
事業担当者連絡先			神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階						
事業担当者E-mail			青年委員会URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen						

事業報告シート					
事業分野	もの・まち・暮らし・その他			作成日	令和6年9月6日
事業名称	親子セミナー「まなぼ！つくろ！わりばしとわごむで”夢の家”」				
開催日時	令和6年8月10日（土） 13：30～16：30		開催場所	すまいるネット セミナールーム	
ふりがな	(こうえきしゃだんほうじん) ひょうごけんけんちくしかい こうべしふ せいねんいいんかい				
活動団体名	(公益社団法人) 兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会				
事業の目的	小学生親子を対象とした市民向け建築スクールの一環として、ものづくりの楽しさに触れるきっかけとなることを目的に行う。「神戸市住まいの安心支援センター」の委託継続事業。				
主な事業内容	第一部では日本や世界の夢のある建物のスライド講義を通じて、住まい(家)の多様な形態について学びます。第二部では、割りばしと輪ゴムを使って子供たちが思い描く「夢の家」の工作に挑戦。最後に子供一人ひとりに夢の家建築士認定証を発行します。				
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	小学生 合計
	人数				8 8
建築士の関り	親子が一緒になってモノつくり体験で、夢の仮想の姿を現実の形として造形し、創造すること、モノを造ることの楽しさを育み体感して頂くことが出来ればと考えている。				
今後の検討課題	わりばしとわごむの事業を行いました、今年はお盆の初日とあってか参加申し込みが例年よりも少なかった。今年は、低学年が多く特に半数が1年生だったので、子供自身でわりばしを組み立てるのが難しく、その分、保護者さんが大工さんになって、設計士(子供)の思いを聞いて組み立てをお願いします、と伝えて、親子で協力して作るように促しました。今年も思い思いの夢のある家づくりができたと思います。割りばしから立体的なものを作るのは難しいかと思いますが、各自様々な面白い形が出来上がりました。今年も、模造紙に道や公園を書いて、そこにみんなの家を置いてひとつの町を作りました。				
連携・協力組織等	一財) 神戸住環境整備公社 (すまいるネット)				

当日の様子

- ・わりばしの企画7回目です。今年もプランコのある家、水槽の中の家、動物と暮らす家など個性的な家が多く出来ました。
- ・今年は1年生など低学年だけでしたので、工作や図面を描くのが難しかったようです。
- ・参加人数が少なかったので、講師が例年より長く付き添い、最終的には皆完成出来ました。



事業担当(計画)者	寺田 みさと(青年委員会)	事業責任者	高麗 憲志(青年委員会・委員長)
事業担当者連絡先		神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階
事業担当者E-mail		青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen

事業報告シート						
事業分野	もの・まち・くらし・その他		作成日	令和6年11月6日		
事業名称	公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部 全国大会(鹿児島)参加助成事業					
開催日時	令和6年10月24日(木)～10月26日(土)		開催場所	鹿児島県文化センター 宝山ホールほか		
ふりがな	(こうえきしやだんほうじん)ひょうごけんけんちくしかい こうべしぶ せいねんいいんかい					
活動団体名	(公益社団法人)兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会					
事業の目的	これまで青年委員会では、委員長や一部委員を除いて支部内の交流が主で、他支部や他の都道府県がどのような活動をしているか知る機会がほとんどない。そこで、全国大会(鹿児島大会)への参加を通して、県青・近建青との交流も含め、全国の青年委員会がどのような活動をしているのか、直接その熱量を感じ視野を広げるとともに、得たものを支部へ持ち帰り、より強い一体感の醸成を目的とする。					
主な事業内容	(大会前日)10/24(木)建築士フォーラム(青年事業)(自由) (大会当日)10/25(金)AM.青年委員会セッション(必須) PM.記念フォーラム・大会式典、大交流会(必須) (エクスカーション)10/26(土)(自由) 大会当日の上記事業への参加を必須事項として、可能な限り支部青年での集団行動とする。 自宅から現地まで往復の移動手段、ホテル等の手配は各自で行う。					
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	学生	合計
	人數	3	0	0	0	3
建築士の関り	全国の各単位士会の青年メンバーをはじめ、様々な方々と交流し、それぞれの事業や活動内容について知見を得る					
今後の検討課題	2泊3日程度の旅程になるため、事前の職場等でのスケジュールの調整や体調管理等が課題として挙げられました。また、この助成や全国大会での支部青年メンバーとの交流の良さを今後の会員増強にどうつなげていくかが課題だと思います。					
連携・協力組織等						

当時の様子

今回私が青年委員会に入って初めて支部青年メンバーで全国大会に参加させていただきました。本大会前日10/24(木)の建築士フォーラムには参加できませんでしたが、その後の意見交換会から参加し、全国の青年メンバーと交流できたことは、特に支部以外のメンバーを知らない若手にとっては非常に刺激になったと思います。また、本大会当日10/25(金)の午前中は青年セッション地域実践活動発表会に参加し、全国の青年メンバーがどのような活動を行っているか、そこに費やされている熱量を感じることができたと思います。午後は式典、夜は大交流会に参加し、会長、副会長をはじめ、他支部のメンバーとの交流ができました。大会翌日10/26(土)は支部青年メンバーでレンタカーを借り、終日建築巡りを行い青年メンバーの交流を深めました。



大会会場前で集合写真



地域実践発表会の様子



記念式典の様子

事業担当(計画)者	高麗憲志	事業責任者	高麗憲志(青年委員会・委員長)
事業担当者連絡先		神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階
事業担当者E-mail		青年委員会URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen

令和6年度 全国大会（鹿児島）参加助成事業報告

（公社）兵庫県建築士会神戸支部青年委員会

委員長 高麗憲志

日程：2024年10月24（木）～26（土）

場所：鹿児島県文化センター、宝山ホール（鹿児島県鹿児島市）ほか

今回初めての試みとして、青年委員会を対象として全国大会（鹿児島）への参加費及び大交流会費の補助をしていただき、川田副委員長、神鳥氏、高麗の3名が助成をうけ、参加させていただきました。この試みの理由は2つあります。一つは会員増強のため青年委員会に入会してもらうメリットにできないかということ。もう一つは、新しい青年委員会メンバーに全国大会に是非参加していただきて、神戸支部や兵庫県以外の建築士会のことを知り、早い段階から支部や兵庫県だけでなく全国のメンバーと交流をもってもらいたいということです。



私は4年前から近畿建築士会協議会の青年部会（以下近建青）に出向しており、近畿2府4県の建築士会の青年メンバーと様々な事業を通して交流をしてきました。そこで費やされる熱量は相当なもので、支部だけでなく本部の活動と併せて大変なもの

がありました。そのような中でできた仲間との経験は非常に充実していて貴重なものとなったと思っています。その中でも特に地域実践活動発表会は近畿2府6県から近畿ブロックの代表を選び、全国大会で発表し最優秀を決めるというもので、毎年の全国大会での青年メンバーの最大のイベントの一つです。今回近建青からは奈良県建築士会の「すきまヤタイ」が選ばれ、全国大会で発表しました。入賞はしませんでしたが、近建青のメンバー全員で一体となって応援するという経験は毎年非常に貴重な体験だと感じています。



近建青での地域実践活動発表会の様子

また、近建青のメンバーは発表会の前日から現地入りしており、夜は近建青の現役メンバーとOBとの交流会をキンキナイトと呼んで毎年開催しています。近畿でも集まれるのになんて鹿児島まで来てわざわ

ざ？と思われるかもしれません、他県で集まるからこそ醸成される一体感や楽しさがあるものです。



全国大会での地域実践活動発表会の様子

私も何となく神戸支部の活動に参加していましたが、近建青に出向して多くの他府県のメンバーと交流するうちに、改めて建築士会で活動する楽しさやその意義を実感できるようになりました。神戸支部の青年委員会にも昨年、若手のメンバーが入会してくれましたので、そのような経験を早くしてもらいたいという想いで今回の事業を企画しました。

全国大会中は基本的に神戸支部の青年メンバー3名で行動しました。全国大会前日は連合会青年部会のイベントとして、鹿児島市内のまち歩きが開催されました。我々は参加できませんでしたが、その後の交流会のみ参加し、近建青のメンバーや昨年知り合った全国のメンバー、また新たに知り合ったメンバーと楽しい時間を過ごすことができました。

全国大会当日では、先ほど述べた地域実践活動発表会に参加し、夜は大交流会に参加させていただきました。特に夜は鹿児島名

産の焼酎の飲み比べができ、鹿児島の名物もたくさん振る舞われましたので、鹿児島を味わい尽くせる時間となりました。大会の次の日はエクスカーションには参加せず、我々神戸支部の青年メンバーとレンタカーで鹿児島各地をまわり、砂蒸し温泉に入り、おいしいものを食べ、充実した一日となりました。



大交流会の様子

コロナ禍でオンライン会議の機会が増え、たくさんの人が集まって飲食をする機会が減少しているように思います。建築士会での事業や普段の活動を通して、対面で集まり時間を共有することの大切さ、楽しさを改めて実感し、他のメンバーや今後入会してくる新しい若いメンバーに早く実感してほしいと思っています。一つ課題としては、この経験やメリットをどう発信していくかだと思っており、次年度以降検討していきたいと思います。

建築士会鹿児島全国大会

兵庫県建築士会神戸支部青年委員

川田靖建築設計事務所

川田 靖

2024年10月24-26日で建築士会鹿児島全国大会に行ってきました。10/24早朝に、神鳥さんと神戸空港から鹿児島に向いました。レンタカーを借りて、昼食にお鶏飯を食べ、知覧特攻平和会館、特攻隊員たちが出撃するまでの起居していた半地下式の三角兵舎(復元)を見て、高麗さんと合流して青年の建築士フォーラムに出席しました。



翌10/25は本大会、青年委員会セッション、記念フォーラム、大交流会に出席しました。





翌 10/26 は、またレンタカーを借りて、島津光久が 1658 年に建てた仙巖園、宮ヶ浜の海、砂むし温泉、岩崎美術館に行って神戸に帰りました。神戸支部からは大会登録費 6,000 円と大交流会参加費 8,000 円を補助してもらいました。大交流会では、様々な銘柄の焼酎も飲めて、長渕が好きな鹿児島県建築士会員とも交流できました。2 泊 3 日のとても学びのある楽しい全国大会でした。



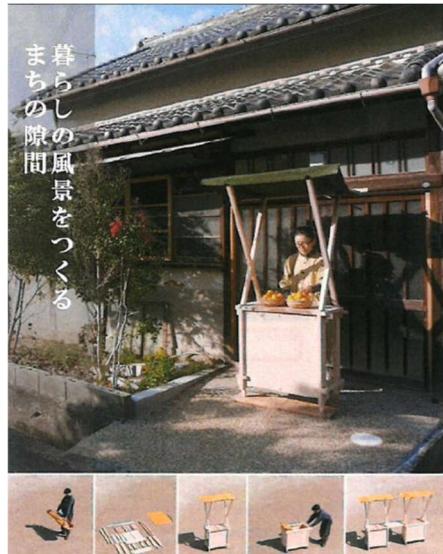
令和6年度 公益社団法人兵庫県建築士会神戸支部

全国大会（鹿児島）参加助成事業報告

令和6年10月24日から26日の3日間で開催された第66回建築士会全国大会鹿児島大会に参加しました。10月25日に行われていた青年委員会セッションの地域実践活動発表会、記念フォーラム、大会式典と大交流会に参加しました。

青年委員会セッションの地域実践活動発表会において、印象に残っているプログラムをいくつか報告します。

近畿ブロックからは奈良県建築士会の『すきまヤタイ』～伐採から植林まで。地域のつくり手と住民をつなぐ試み～の発表がありました。地域住民と木材産業のつくり手をつなぐ「すきまヤタイ」を開発し、伐採体験や木材を活用した製品製作を通じて地域への貢献を目指すプログラムでした。小学生を対象に伐採イベントを実施し、子どもたちが県産材の魅力を五感で学ぶ機会の提供をしていました。また、すきまヤタイの設計から製作までを地域住民を協働し約1年10ヶ月を要して2つの型を考案していました。イベントでの販売所やコミュニケーションツールとして活用でき、軒先や空き地などで利用され、多様な目的に応じた柔軟な使い方が可能でした。伐採から製作、活用まで地域住民と協力して行われ、地域住民の交流促進や、奈良県産木材の利用価値を広めることができる興味深い取り組みでした。



中四国ブロックからは愛媛建築士会の『建築士による防災講座』～木造住宅の耐震化普及に向けて～の発表がありました。建築士が木造住宅の耐震化の重要性を一般市民に伝える防災講座を行い、耐震の必要性を直観的に理解できる倒壊模型を用いた教育的取り組みでした。2台同時に加振できる仕組みを考え、補強の重要性を視覚的にわかりやすく伝える工夫がありました。自作の倒壊模型を用いて町内会や学校、消防署などで講座を開催し、防災意識を啓発されてました。耐震化の重要性を伝え、愛媛県の耐震化率向上に寄与されています。一般市民が興味を持ちにくい内容をテーマにした取り組みで、建築士が行っていたかなければならない大変重要なプロジェクトであると感じました。



九州ブロックからは鹿児島県建築士会の『これがきっかけ！入れる建築スイッチ！高校生現場見学会』の発表がありました。建築学科の高校生を対象に木造建設の一連の流れを見学する機会を提供する取り組みでした。木材伐採から、プレカット工場、建築中の現場、完成物件の順に見学を行い、学生にとっては実際に目で見て、手で触れることで木造住宅の魅力を体験できる良い機会であったと思います。参加学生からは前向きな感想が多く寄せられ、参加企業にとっても学生との交流は貴重な機会となり、地域全体で建築業界を支える良い仕組みであると思いました。このような取り組みが全国に広がれば建築業界はもっと盛り上がると思います。



これらの活動は、地域の課題解決に寄与し、住民や次世代を巻き込むことで持続可能な地域社会の実現を可能にすると思います。近畿ブロックの『すきまヤタイ』は地域住民の交流と地元資源の活用を促進し、中四国ブロックの防災構造は耐震化意識の向上に貢献しています。また、九州ブロックの現場見学会は次世代の建築業界を担う人材を育成し、地域の建設業界の活性化につながります。このような様々な取り組みを知る大変いい機会になりました。

初めての建築士会全国大会に参加し、青年委員会セッションの地域実践活動発表会、記念フォーラム、大会式典と大交流会を通して、多くの建築士の方々に出会い、話すことができて大変楽しかったです。次回もぜひ参加したいと思います。

(文：神鳥)



↑青年委員会参加メンバーの集合写真



↑大交流会の様子

事業報告シート						
事業分野	もの・まち・くらし・その他		作成日	令和7年2月20日		
事業名称	第31回 建築セミナー シンボルとしての建築を巡る					
開催日時	令和7年2月8日(土) 9:30~17:00		開催場所	大阪府吹田市、茨木市		
ふりがな	(こうえきしゃやだんほうじん)ひょうごけんけんちくしかい こうべしふ せいねんいいんかい					
活動団体名	(公益社団法人)兵庫県建築士会 神戸支部 青年委員会					
事業の目的	本年開催される大阪・関西万博では、各国の象徴としての最新のパビリオンが立ち並び、現代を象徴するイベントとなると思います。今回の建築セミナーでは、前回の大坂万博を振り返ると同時に、最新の各地域や駅前を象徴するシンボルとしての建築を巡ることで、今回の万博への期待感を醸成するとともに、将来への建築について展望する機会とします。					
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■万博記念公園及び茨木市複合施設おにくる見学 ・万博記念公園内施設(3箇所) <ul style="list-style-type: none"> 太陽の塔(内外とも)、EXPO70パビリオン、国立民俗学博物館(昼食利用、グリルみんぱく) ・茨木市文化・子育て複合施設 おにくる (元現場所長杉本氏による案内あり) 2023年10月竣工 設計:伊東豊雄建築設計事務所、竹中工務店 ・いばらきスカイパレット 2015年竣工 設計:高松伸建築設計事務所 					
参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	学生	合計
	人数	5	6	3	0	14
建築士の関り	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の立案、見学先の選定やルート等の調整、ご案内いただく方との日程や内容の調整 ・チラシの作成やSNS、HP等への掲載などの広報活動 ・インターネットを活用した申込方法の検討 					
今後の検討課題	<p>万博記念公園の公園の入場料と太陽の塔の観覧料は人数分先払いだったため、定員数20名分を先払いする必要がありました。最終申込は19名でしたが、5名が当日キャンセルのため、結果的に6名分が無駄になりました。</p> <p>今後先払いが必要で、人数の早期確定が難しい場合は、前払いの仕組みやキャンセル料を告知の際に明記するなど検討が必要です。</p>					
連携・協力組織等	杉本健司氏(竹中工務店)					
当日の様子	<p>当日は今期一番の寒さとなり少し雪が舞っていましたが、基本的には快晴で気持ちの良い一日となりました。</p> <p>万博記念公園では「太陽の塔」の内外部、「EXPOパビリオン」の展示を見て前回の大坂万博の当時の時代性や盛り上がりの様子など、展示物を通して知ることができました。</p> <p>また、当時を知る参加者の思い出話など伺うことができ、今年の大坂・関西万博への期待感を参加者で共有することができたと思います。</p> <p>午後からの茨木市文化・複合施設おにくるでは、竹中工務店の元作業所長杉本氏と茨木市の山根さんに館内をご案内いただきました。普段見ることができない、ホール舞台の裏や免振層なども見ることができ、明解なご説明もあって貴重な体験を得ることができました。</p> <p>当日は公共交通機関の乱れなどもあり、当日キャンセルが5名発生したため、個別確認のため駅を出発するのが少し遅れたが、全体工程に影響はなく、非常に充実した建築セミナーになったと思います。</p>					
事業担当(計画)者	高麗憲志・川田靖		事業責任者	高麗憲志(青年委員会・委員長)		
事業担当者連絡先			神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12 古湊ビル2階		
事業担当者E-mail			青年委員会URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen		

